

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 26 日現在

機関番号：34604

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2014

課題番号：24330254

研究課題名(和文)いのちの教育カリキュラムモデルの開発的研究

研究課題名(英文)Development study of Life education curriculum model

研究代表者

梶田 叡一(Kajita, Eiichi)

奈良学園大学・人間教育学部・教授

研究者番号：70000065

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,400,000円

研究成果の概要(和文)：「いのちの教育部会」では、児童生徒のいのちに対する意識の実態調査を行い、それを踏まえた発達段階に応じたカリキュラムを開発し、実際に授業を行い、授業モデルを開発した。防災・安全教育部会では、兵庫県と宮城県の教育関係者と防災教育・いのちの教育の在り方について実践交流し、授業カリキュラムに盛り込んだ。また、子どもたちの地域における安全教育の授業のあり方についても授業カリキュラムを開発した。道徳教育部会では、「道徳の時間」の「生命の尊重」に関わる道徳授業の現状と課題について、各出版社の道徳副読本の資料(教材)と指導案の実践的課題の分析を行い、授業モデルの開発とそれに伴い授業資料を開発した。

研究成果の概要(英文)：In the "life of education Group", it is carried out survey of awareness of life of students, to develop a curriculum in accordance with the developmental stage that had chosen it, actually do the class, we have developed a teaching model. The disaster prevention and safety education Committee, and practice exchange for Hyogo Prefecture and way of education of disaster prevention education and life with the Miyagi Prefecture of educators, and incorporating the class curriculum. Also, we have developed a curriculum about the nature of teaching safety education in the area of children. In moral education committee, about the current situation and problems of moral lesson related to the "respect for life" in the "time of morality", was carried out an analysis of the practical challenges of teaching plan with each publisher of morality supplementary reading materials (materials), class model I have developed a development and teaching materials along with it of.

研究分野：心理学

キーワード：いのちの教育 道徳教育 教科教育 防災教育

### 1. 研究開始当初の背景

児童生徒の「いのち」にまつわる様々な問題が生じ、「いのちの教育」の必要性が高まってきており、重要な課題となっている。我が国では、教育基本法と学校教育法の目標、学習指導要領の総則においても、「人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念、自他の生命を尊重しなければならない」とされており、「いのちの教育」が日本の学校教育において必要不可欠であると強調されている。これを踏まえた「いのちの教育」を实践した授業取組みがなされ、その成果が発表されている。特に阪神・淡路大震災や神戸市須磨区の児童殺傷事件をきっかけに、兵庫県では全県対象に「命の大切さを実感させる教育プログラム」「新しい防災教育」を实践してきた。しかし、震災や児童殺傷事件を経験した非常時経験を持つ兵庫県の地域的な取組みであり、全国的な取組みまでには至っていない背景があった。

### 2. 研究の目的

「いのち」にまつわる教育は、命にかかわる事件を引き起こす子ども達の出現などにより必要不可欠な教育であることから、学校教育の中において道德教育を中心に様々な取組みがなされている。また、自己肯定感や自己存在感を高める心理学的な手法を用いた授業方法も開発され、特別活動や総合学習の時間の取組みの一部になっている。しかし、この取組みは、義務教育段階を対象にするものが殆どであり、教科のカリキュラムでの実践は少なく、一部授業実践があるのみである。本研究は、児童生徒の発達段階を対象にする。また、複数の教科において授業実践できるカリキュラムモデルの開発に取り組む。

### 3. 研究の方法

- ・授業におけるいのちの教育の理論的研究
- ・いのちの教育の実践的研究
- ・いのちの教育カリキュラムモデル案の構築

### ・カリキュラムモデルの最終案の構築

上記の4つの研究を進めるために、次の研究方法で進めてきた。「いのちの教育部会」「学校安全・防災教育部会」「道德教育部会」の3つの部会を設置し、研究を進めた。「いのちの教育部会」では、教員と児童生徒の双方へ「いのち」と「いのちの教育」とそのための学校の取組に関するアンケート調査を行いながら、「いのちの教育」カリキュラム化に向けたモデル開発を「いのちの大切さを実感させる教育」という観点から、学校現場における「いのちの教育」の具体化を進めるための課題の明確化に取り組んだ。具体的には、教科教育、生徒指導の各教科・各領域における「いのちの教育」の理論的研究と実践的研究に取り組んできた。「学校安全・防災教育部会」では、防災・減災教育の視点を持ちながら、いじめ、暴力、犯罪を予防する教育プログラムを開発し、道德の時間、総合的な学習の時間、学級活動において実践する。また、教科書の分析等を行い児童生徒への災害に関する知識について検討した上で、自然災害のメカニズムを知り、災害時に身を守る方法を学ぶと共に、自他の命を守ろうとする態度を育成する授業を検討し、実践した。「道德教育部会」では、学校における道德教育特に「道德の時間」の「生命の尊重」に関わる道德授業の現状と課題について、各社道德副読本の資料(教材)と指導案の実践的課題を分析することによって明らかにした。

### 4. 研究成果

(1)「いのちの教育部会」では、児童生徒のいのちに対する意識の実態調査を行い、それを踏まえた発達段階に応じたカリキュラムを開発し、実際に授業を行い、授業モデルを開発した。いのちの意識に対する実態調査では、自分自身の良いところがあると実感できる子は、いのちの大切さを実感できる、周りの人に支えられていると実感できる

子は、いのちの大切さを実感できる、得意なことがあると思える子は、いのちの大切さを実感できる、努力すれば報われると認識している子は、いのちの大切さを実感できる、

新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げたいと考えられる子は、いのちの大切さを実感できるの5点が調査結果から示唆され、その結果を受けて授業プログラム開発を行った。カリキュラムの全体構造としての目標は下記の通りである。

成長への支援と感謝を目標とし、自分の成長を振り返り、成長を実感することで、自分が存在することへの喜びを感じるとともに、赤ちゃんを見守る母親等の姿や保育学習体験をとおして、自分の成長を支えてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちを持つ。

#### 【小学校低学年】

身近な生き物の誕生・成長にふれ、命あるものを大切にしたいという気持ちを持たせる。教育課程の位置づけ：国語、生活科、理科

#### 【小学校中学年】

自分自身の成長を支えてくれた周囲の人たちへの感謝の気持ちを持たせ、高齢者とのふれあいをとおして命のつながりを実感させる。教育課程の位置づけ：理科、道徳、総合的な学習の時間

#### 【小学校高学年】

かけがえない命を感じさせるとともに、自他の生き方や命を尊重しようとする心を持たせる。教育課程の位置づけ：道徳、総合的な学習の時間

#### 【中学校】

自分の成長を振り返り、自分自身の存在に感謝し、喜びを感じさせる。また、かけがえない命を未来へつないでいこうとする思いを持たせる。教育課程の位置づけ：家庭科、保健体育、音楽、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

#### 【高等学校】

地域社会への貢献を通して、社会の一員としての自分を感じとらせ、人に支えられて成長してきたことへの感謝と自覚、人を支えることの喜びを実感させる。教育課程上の位置づけ：公民、特別活動、総合的な学習の時間

上記を踏まえて授業実践研究を行い、「いのちの大切さ」を実感させるには、「自尊感情を育む」と「いのちの関連性・連続性を学ぶ」、「いのちの有限性と不可逆性を学ぶ」、「体験活動を充実する」ことの4点が必要であるとまとめた。

(2)「防災・安全教育部会」では、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の教育関係者と東日本大震災を経験した宮城県の教育関係者と防災教育・いのちの教育の在り方について実践交流し、授業カリキュラムに盛り込んだ。また、子どもたちの地域における安全教育の授業のあり方についても授業カリキュラムを開発した。連携協力者である諏訪(2014)は「生きる力を育てる防災教育」として、「サバイバー(生き抜く力となるため)」「サポーター(支える力)となるため」「市民力を育むため」の3つを防災教育のねらいとし、構成する要素として「ハザード」「災害対応」「社会背景」「語り継ぎ」の4つを挙げた。実践授業例として、高校における総合的な学習として、地震に関わる授業と災害後にできること、心肺蘇生等のファーストエイドを挙げた。

松田(2015)は、生活科と特別活動における防災教育の授業の在り方について提言した。

(3)「道徳教育部会」では、「道徳の時間」の「生命の尊重」に関わる道徳授業の現状と課題について、各出版社の道徳副読本の資料(教材)と指導案の実践的課題の分析を行い、授業モデルの開発とそれに伴い授業資料を開発した。開発資料は「いのちみつけた」

「うまれて きて くれて ありがとう」  
「サンキュー・プロジェクト」 「ちか  
みち」 「いつもそばにいるよ」 「もう  
いちど聞いてみよう」 「何ができるのだ  
ろう」 「おたんじょう会」 「私の赤ち  
ゃんからのメッセージ」 「一すじの小さ  
な光」 「いまここに」 「つながるって  
どういうこと？」 「オーシャンズより」  
「命の順番」である。対象学年は小学校1  
年生から中学校までを想定している。実際に  
授業実践を行いその事例についても報告書  
には掲載している。

5. 主な発表論文等  
〔雑誌論文〕(計 23 件)

梶田 勲一

「いのちの教育カリキュラムモデルの開  
発的研究」研究成果報告書 標題：「<  
いのち>の教育の更なる進展のために  
ー実践研究の主要課題 ー」2015,205-207

渡邊 満

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：「い  
のちの教育カリキュラムモデルの開発、  
その目的と構想」 2015, 7-18

渡邊 満

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「学校教育の道德教育における「いのち  
の教育」という課題  
2015, 135-141

住本 克彦

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「いのちの教育」カリキュラム開発への取  
組 2015, 21-39

古川 治

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「小中学校の道德教育における「いのち  
の教育」 2015, 195-204

松田 智子

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「生活科と特別活動における防災教育」  
2015, 96-107

杉田 郁代

「いのちの教育カリキュラムモデル

の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「小学校社会科における防災教育の考察  
」2015, 108-121

五百住 満

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「いのちの教育カリキュラムモデルの開  
発事例」 2015, 40 - 48

三木 澄代

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
<いのち>の教育の授業展開の方向性に  
関する一考察 2015, 49-59

龍明 知恵子

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「いのちのカリキュラムモデルの開発事  
例」 2015, 60-69

原 実男

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「生と死の教育」の有効性の測定」  
2015, 70-76

松井 典夫

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「学校安全 安全教育」 2015, 77-95

久保 弘子

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「小学校「道德における「3 - (1) 生  
命の尊重」の視点と教材分析  
2015, 142 - 163

森 一郎

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「中学校の「3 - (1) 生命」の授業展  
開の分析  
2015, 164 - 170

龍神 美和

「いのちの教育カリキュラムモデル  
の開発的研究」研究成果報告書 標題：  
「各社副読本の教師用指導書における  
「ハムスターのあかちゃん」の授業を考  
える」2015, 171-174

渡邊 満

「いのちの教育」と道德教育の諸課題  
標題：「現代における「いのちの教育」  
という課題」2015, 3-16

杉田 郁代

「いのちの教育」と道徳教育の諸課題  
標題：「学校における「いのちの教育」」  
2015, 17-32

渡邊 満

「いのちの教育」と道徳教育の諸課題  
標題：「学校の道徳教育における「いのちの教育」という課題」  
2015, 33-44

住本 克彦

「いのちの教育カリキュラムモデルの開発的研究」標題：「いのちの教育」カリキュラムモデルの開発的研究  
2015, 3-43

松田 智子

教育 PRO「特別活動で築く人間関係力  
防災教育の実践を通して」第 40 巻 9 号  
2014, 6-10

②① 五百住 満

「いのちの教育」カリキュラムモデルの開発的研究 標題：いのちの教育部会・研究報告 2015, 1-3, 37-38

②② 三木 澄代

「いのちの教育」カリキュラムモデルの開発的研究 標題：いのちの教育部会・研究報告 2015, 51-59

②③ 松田 智子

「Death Education による人間教育 絵本の分析を通してー」2015, 「人間教育学研究」奈良学園大学人間教育学部 59-70

〔学会発表〕(計 8 件)

渡邊 満

「シティズンシップ教育から道徳教育は何を学ぶのか」日本道徳教育方法学会第 20 回大会(招待講演) 2014 年 6 月 14 日 岡山大学教育学部

住本克彦・五百住満・三木澄代・瀧明知恵子・原実男

「小・中・高等学校意識調査結果を踏まえた『いのちの教育』のカリキュラム開発への取組」岡山心理学会第 62 回大会論文集 2014  
2014 年 12 月 25 日 中国学園大学

松田 智子

絵本の分析を落として Death Education(死への準備教育)  
日本教師学会第 16 回大会  
2015 年 2 月 28 日 日本女子大学

渡邊 満

「いのちの教育のカリキュラムづくりとこれからの道徳教育」いのちの教育実践交流会 第 6 回シンポジウム in 兵庫 2015 年 1 月 25 日  
ホテル北野プラザ六甲荘

住本克彦・三木澄代

「意識調査結果を踏まえたいのちの教育のカリキュラム作成への取組」いのちの教育実践交流会 第 6 回シンポジウム in 兵庫 2015 年 1 月 25 日  
ホテル北野プラザ六甲荘

松田智子・松井典夫

「学校安全と防災教育といのちの教育」「いのちの教育のカリキュラムづくりとこれからの道徳教育」いのちの教育実践交流会 第 6 回シンポジウム in 兵庫 2015 年 1 月 25 日  
ホテル北野プラザ六甲荘

森 一郎

「これからのいのちの教育の在り方 道徳副読本の分析からー」いのちの教育実践交流会 第 6 回シンポジウム in 兵庫 2015 年 1 月 25 日  
ホテル北野プラザ六甲荘

梶田 叡一

「いのちの教育のあり方を考え直す」いのちの教育実践交流会 第 6 回シンポジウム in 兵庫 2015 年 1 月 25 日  
ホテル北野プラザ六甲荘

6. 研究組織

(1) 研究代表者

梶田 叡一(Kajita Eiichi)  
奈良学園大学・人間教育学部・教授  
研究者番号：70000065

(2) 研究分担者

古川 治(Furukawa Osamu)  
甲南大学・教職研究センター・教授  
研究者番号：10425382

研究分担者

住本 克彦(Sumimoto Katsuhiko)  
環太平洋大学・次世代教育学部・教授  
研究者番号：10461972

研究分担者

渡邊 満(Watanabe Michiru)  
岡山大学・教育学研究科(研究院)・教授  
研究者番号：30127740

研究分担者

加藤 明 (Kato Akira)  
関西福祉大学・発達教育学部・教授  
研究者番号：30258256

研究分担者  
松田 智子 (Matsuda Tomoko)  
奈良学園大学・人間教育学部・教授  
研究者番号：30361958

研究分担者  
杉田 郁代 (Sugita Ikuyo)  
比治山大学・健康栄養学部・准教授  
研究者番号：90469320

研究分担者  
五百住 満 (Iozumi Mitsuru)  
関西学院大学・教育学部・教授  
研究者番号：00546830

研究分担者  
三木 澄代 (Miki Sumiyo)  
環太平洋大学・次世代教育学部・准教授  
研究者番号：30633705

### (3)研究協力者

諏訪 清二 (Suwa Seiji)  
瀧明知恵子 (Takiaki Chieko)  
原 実男 (Hara Jitsuo)  
松井 典夫 (Matsui Norio)  
久保 弘子 (Kubo Hiroko)  
森 一郎 (Mori Ichiro)  
龍神 美和 (Ryujin Miwa)  
山口 光一 (Yamaguchi Koichi)  
大谷 武彦 (Otani Takehiko)